

外務大臣表彰・在外公館長表彰・離任レセプション挨拶（案）

皆様、こんばんは。

本日は外務大臣表彰、在外公館長表彰、そして私どもの離任レセプションにお越し頂き、感謝申し上げます。

【外務大臣表彰】

本日、外務大臣表彰を、ミウラ道場道主タケシ・ミウラ師範に、岸田文雄外務大臣に代わりまして、授与致します。

ブラジルにおける柔道人口は世界最大で200万人を超え、日本の柔道人口の約10倍です。リオデジャネイロ・オリンピックでは、ハファエラ・シウバ選手が金メダルを獲得したのをはじめ銅メダルが2人、またパラリンピックでは銀メダルが4人とブラジルの柔道選手が大いに活躍されました。

タケシ・ミウラ師範は、1966年にブラジリアにミウラ道場を創設し、これまで一万人を超える柔道家を育成されてきました。ミウラ師範が、柔道の鍛錬を通じて伝えてこられたのは、「礼儀」、「規律」、「忍耐力」、「他者の尊重」の精神です。またミウラ師範は、恵まれない子供達に対して道場の門戸を大きく開かれました。

柔道を通じてブラジルと日本の絆は大いに強まりました。ミウラ師範は先駆

者として重要な貢献をされました。道場創立50周年にあたる本年、ミウラ師範に外務大臣表彰を授与致します。

【在外公館長表彰】

次に在外公館長表彰です。本年は、在外公館長表彰を2つの日系団体、及び10の日系団体婦人部に対して授与致します。

「ブラジリア日伯文化娯楽クラブ」は、「六月際」などの各種日本文化紹介イベントの実施の他、テニス等各種スポーツ競技の振興、和太鼓の普及活動等に貢献され、大きな成果を上げています。

「ブラジリア農村文化娯楽協会」は、他の日系団体と連携し、各種文化行事において、日本文化の普及・継承に貢献されています。

「ブラジリア日伯文化娯楽クラブ」、「ブラジリア農村文化娯楽協会」は、昨2015年の日ブラジル外交関係樹立120周年記念事業の実施にご協力を頂きました。

次に各日系団体の婦人会です。婦人会の皆様は、日本食の継承・普及に大きな貢献をされてきました。日本祭り、盆踊り等の機会に、婦人会の皆様が心を込めて料理した、焼きそば、天ぷら、寿司、お好み焼きなどが必ず提供されま

す。日本食はブラジル食文化の一部として受け入れられています。また、婦人会が販売する日本食の売り上げが、日系団体の活動を経済的に支えています。

このような婦人会の皆様の多大な功績に心から敬意を表して、本日、在外公館長表彰を授与致します。

なお、昨年度、農林水産省及び文化庁は、日本料理専門家をブラジルの各地に派遣し日本料理教室を開催しました。また JICA は、本年より日本料理専門家 3 名をブラジルに派遣し、日本料理教室を開催しています。来年初め、JICA は、日本食普及の婦人部の貢献に敬意を表し、また、日本食継承の観点から、婦人部代表 6 名を研修のために日本に招聘する予定です。

【ミズノよりの柔道着等の贈呈】

オリンピックの機会に、日本のミズノ社から柔道着 4 5 着、柔道ズボン 4 5 着、柔道帯 1 5 0 本をご寄贈頂きました。今回の表彰の機会に、日本が進めるスポーツ・フォー・ツモロ事業の一環として、ミウラ道場及びトカンチンス日伯文化協会に贈呈致します。また、トカンチンス文化協会に対しては、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」による道場整備を進めています。ミウラ道場及び日伯文化協会の道場で、ミズノ社の柔道着をおおいに活用いただき、立派な柔道家を育成頂きたいと思っております。